

3議席目をめざし 市議選予定候補に 掛布 まち子さんを決定



日本共産党江南市委員会は、来年4月に予定されている江南市議会議員選挙で、前回失った議席を回復し、3議席を確保するために、市議選の予定候補として、勝佐町在住の掛布まち子さんを決定し、発表しました。

掛布さんは、今年54歳。父親は元江南市議会議員の松田源治さん。勤務の関係や結婚のため三重県に住んでいましたが、父親の介護のため江南市に戻り、現在は近くに住む母親や夫・娘さんと暮らしています。

三重県に在住中は、東員町で3期12年町会議員を務めていました。先日のシンポジウムではコーディネーターを務め、新ごみ処理施設の問題をはじめ地域での対話や活動に取り組んでいます。

古北の地域は長い間、川村弘前議員が日本共産党の議席を守ってきた地域です。みなさんのご支援をお願いします。

ごあいさつ

掛布まち子

父の介護のため、生まれ育った江南市に一昨年、28年ぶりに戻ってまいりました。

温かく、なつかしい故郷で、微力ながら、地域の皆さんとごみ問題などに取り組んできました。

その中で、「市民との協働」とは名ばかりの市政を目の当たりにし、本当に市民本位の、市民の声が大切にされる市政に変えていかなければとの思いが強くなりました。

転居から日も浅く、重責が担えるのか迷いもありましたが、市民の願い実現、苦難解決のために尽くす日本共産党の立党の精神に立ち戻り、皆さんに支えていただきながら、川村弘前議員の築いてきた伝統の議席を引き継ぎ、がんばる決意をいたしました。

どうぞよろしく
お願いいたします。



掛布まち子さんプロフィール

住所：江南市勝佐町

TEL 53-7727 54才

略歴 江南市生まれ、滝中・滝高・名大理学部化学科卒

古知野中学校教員ほか、大阪府、三重県で高校講師。

22歳で入党。三重県東員町で日本共産党町議会議員3期12年

現在、党准地区委員。

家族は、夫と二女。

3議席をめざし

ともにがんばる！
大竹しようごさんの話

3年前の選挙では多くの市民の皆さんのご支援ありがとうございました。前回の選挙でのご支援いただいた方には申し訳ありませんが、残念ながら仕事の関係等で、今回は立候補を辞退しました。

この度、掛布さんというりっぱな後継者ができ、よかったと思っています。

前回の支援に感謝しつつ、3議席目を奪還すべく私も一緒に全力でがんばります。

* 8・9日と全国市長会議のため市長が不在になるため変則の日程になっています。

* 17日(木)
午前・まちづくり基本条例特別委員会
午後 全員協議会(21年度 指定管理者の事業報告等)

6月議会の日程

- 6月2日(水) 開会・議案の上程
- 7日(月) 本会議・一般質問
- 10日(木) 本会議・一般質問
- 11日(金) 本会議・一般質問
- 14日(月) 本会議・議案質疑
- 15日(火) 午前 本会議・議案質疑
午後 常任委員会
- 16日(水) 常任委員会
- 21日(月) 本会議・採決

どうする?ごみ問題

講演とシンポの集い開く!

5月30日午後1時から江南市民文化会館の美術工芸室で「新ごみ処理施設について考える講演とシンポジウムのつどい」が党一宮・尾北地区委員会の主催で開かれました。

講師はごみ・環境問題の専門家で、元国会議員の岩佐恵美さん。シンポは行政から大口町環境課の竹本さん、建設候補地の近くに住む野呂さん、犬山市議員の岡さんをパネラーに掛布さんの進行で行われました。

講演では、日本のごみ問題の実態を明らかにするとともに、今回の2市2町の広域ごみ処理施設建設問題についても「計画先にあき」になつていないか、まずごみ減量に向けた自治体の取り組みの必要性について力説。「ごみ問題解決の基本は、ゴミを出す住民と行政との協力が不可欠」「行政のトップダウンは最悪」とのことでした。

シンポでは、それぞれの立場からの報告があり、会場からも、候補地の近くに住む人や、焼却場で働く人からの発言もあり、今後の取り組みに展望が持てる集いになりました。

新ごみ処理施設の

建設候補地を犬山市に決定!

25日に開かれた首長会議で、多数決で犬山市の候補地(入鹿池南・小牧市境)に決定しました。地元町内会や小牧市から反対の声が上がっています。